

令和 7 年度事業報告（被害者支援センター）

項 目	内 容
電話・面接相談	○ 電話相談 犯罪等の被害者及びその家族又は遺族（以下「犯罪被害者等」という。）からの相談を職員又は支援活動員（ボランティア）が専用電話（0120-43-0874）等で受理した。 ○ 面接相談 面接相談を希望し又は電話相談の結果、面接相談が必要と認められる犯罪被害者等に対して、職員等がセンター面接相談室などで面接し、相談者の心情に寄り添った支援を行った。 ○ 電話・面接相談の受理状況 受理総数 277 件（相談実人数 76 名） 相談手段～電話 219 件、面接 47 件、文書 3 件、メール 8 件 居住地域（対応した全ての相談者数 288 名） ～東部 218 件、中部 9 件、西部 30 件、県外 3 件、不明 28 件 主な内容～性犯罪、DV、詐欺、傷害暴行、その他 ○ カウンセリング及び医療的措置の支援 メンタルケアを必要とする犯罪被害者等に臨床心理士等専門家を紹介した。 ○ 法的救済支援 法律専門家による相談が必要と認められる犯罪被害者等に対して、協力弁護士を紹介した。（3 件）
直接的支援	○ 役務の提供等 犯罪被害者等の精神的負担の軽減を目的として、その要望に応じて付添い、送迎等の支援を行った。 支援実施数 123 件（支援実人数 8 名） 裁判所（付添・代理傍聴）5 件、弁護士事務所 3 件、法律相談 3 件、検察庁 4 件、警察 3 件、病院 26 件、行政窓口等 11 件、生活支援 14 件、自宅訪問 2 件、その他（送迎等）52 件 ○ 全国被害者支援ネットワーク被害者緊急支援金の支給 なし
犯罪被害者等給付金申請補助	○ 犯罪被害者等給付金の申請補助 （1 件）
自助グループに対する支援	○ 場所提供等 犯罪被害者自助グループ「なごみの会」が主催する定例集会の会場準備、資料・情報提供等の支援を行った。（7 回） ○ 「いのちのパネル展」の支援 「なごみの会」が開催する「いのちのパネル展」の設置準備等の支援を行った。（市役所、講演会場、警察施設等 11 回）

広報・啓発活動	○ 講演会等の開催 ・ 「被害者支援を考える講演会」を開催 犯罪被害者ご遺族 寺輪 悟氏 による講演を行った。 (7月25日、とりぎん文化会館小ホール(鳥取市)約200名参加) ・ 「鳥取県被害者支援フォーラム」を開催 犯罪被害者ご遺族 宮元 篤紀氏 の講演、鳥取県警察音楽隊による演奏を行い、当センターの被害者支援ソング「涙のち晴れ」の演奏等を披露した。 (11月28日、エースパック未来中心小ホール(倉吉市)約170名参加) ・ 「命の大切さを学ぶ教室」を開催 犯罪被害者ご遺族の講演を通じ中高校生等に対して命の大切さの意識高揚を図った。 (3回 高校2校、中学校1校実施) ○ ホームページによる広報活動の推進 ホームページを随時更新し、講演会の案内等新着情報をタイムリーに掲示した。 ○ 機関紙「センターだより」の発行 センターだよりを発行し、関係機関、賛助会員等へ送付し、事業活動を報告するとともに協力を呼び掛けた。 (7月第33号、2月第34号) ○ 街頭広報の実施 ・ 11月の犯罪被害者週間に併せて、県、警察、センター役員、支援活動員(ボランティア)が参加して、犯罪被害者支援への協力を呼び掛けた。 (JR鳥取駅、鳥取・倉吉・日吉津村内のショッピングセンター4回) ・ 鳥取市内のショッピングセンターにおいて県警開催の犯罪被害者支援コンサート及びチャリティーバザーに協賛し広報した。 ○ 被害者支援講演会等の実施 被害者支援に関する意識の高揚・啓発を推進するため、各関係機関等の研修等に出向き、講演活動を行った。(19回) ○ 講演会、フォーラムの新聞広告を利用した広報とチラシ・ポスターの作成配布した。
関係機関・団体等との連携	○ 県外研修会等への参加 「全国被害者支援ネットワーク」が主催する全国フォーラムや全国研修のほか、中国四国ブロック会議・研修会等に参加した。 ○ 県内の関係機関との連携強化 被害者支援に関わる警察及び行政機関、弁護士会等の会議、研修会等へ出席し意見交換を行うとともに連携等について協議を行った。(30回)
支援活動員(ボランティア)の養成、研修	○ 募集活動 新聞広告の掲載(3回)、チラシ(500枚)を作成しボランティアの募集活動を行った。 ○ 支援活動員(ボランティア)の応募者2名に対し、採用時養成

	講座を実施した。（５回、支援活動員として認定） ○ 継続研修でスキルアップを図った。 ・ センター主催研修（３回、延べ 30 名参加） ・ 全国被害者支援ネットワーク主催中国四国ブロック研修等への参加（岡山市、高知市 延べ 11 名参加）
財政・体制強化の推進	○ ファンドレイジング活動の推進 ・ 全国犯罪被害者支援ネットワークの「ホンデリング・プロジェクト」に参加し、不要本の売却金を寄付していただくための活動を実施した。 ・ 「イオン幸せの黄色いレシートキャンペーン」に参加し、レシート投函を呼び掛けて寄付していただく活動を実施した。（毎月 11 日、レシート金額の 1 %） ・ 鳥取県共同募金会のつかいみちを選べる募金助成事業に参加し、募金活動を実施した。（１月～３月末） ・ 「有限会社 SUNABACOMPANY」様と「有限会社 亀井堂」様のご協力により、寄付型商品（犯罪被害者支援商品）の売上額の一部を寄付していただく活動を実施した。 ・ 賛助会員の維持・拡大と寄付型自動販売機、募金箱の設置拡充に取り組んだ。 寄付型自動販売機 47 か所 68 台（前年度 46 か所 67 台） 募金箱 171 か所（前年度 174 か所） 寄付 団体 157 団体（前年度 140 団体） 個人 86 名（前年度 79 名）
組織の運営体制	○ 正会員数：22 名 団体 17 団体（前年度 17 団体） 個人 5 名（前年度 6 名） ○ 賛助会員数 団体 91 団体（前年度 87 団体） 個人 125 名（前年度 115 名） ○ 職員数 常勤職員：3 名（1 名新規採用） 非常勤職員：4 名（事務局 2 名、西部相談所 2 名） 臨時職員：1 名 ○ 支援活動員（ボランティア）登録数 34 名